点ル	羽商船高≌	等專門学校	え 開講年度	受 令和06年度(2024年度)	授業科目	歴史 2				
科目基礎		. · · · · · /	בון דושנייו ן	- 11-1HOO 115C (
<u>17 口坐</u> 。 科目番号	K IH+K	22102			科目区分 一般 / 必修						
					科目区分						
授業形態		講義			1 12 7 1233 0 1 1	M と単位数 履修単位: 2					
開設学科		情報機構	械システム工学科		対象学年						
開設期		通年			週時間数	2					
教科書/教	材	現代の	歴史総合みる・読る	みとく・考える(山川	出版社 81山川歴	総708 一年生か	ら継続して使用)				
担当教員		中平 希	Ī								
到達目標	西	,									
1. 歴史 人間社会か 2. 文化 3. 課題	とを通じて、 や自然環境 との多様性を 風を期限内(に及ぼした を理解し、名	影響も含めて学ぶ。 S地域の人々の交流		出されてきた様々な		2的特性を、科学技術や産業の発展力 背景を含めて理解する素養を養う。				
ルーブリ	ノツク		TER + C + C + T + C + T + C + T + C + C + C		I#3446 (
				レベルの目安	標準的な到達レ/	ベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	1		きの概略をより	にかけての世界の動く理解し、主要な事 興味や関心を抱いて に至るまで説明でき		かけての世界の動 し、主要な事項に る。	近代から現代にかけての世界の動 きの概略を理解できない。				
評価項目2	2		課題の内容を 問題を自分で	よく理解して、発展 作成できる。	課題の内容を理解 解くことができる	解し、類似問題を る。	課題の内容を理解できない。				
評価項目3	3		課題を的確に 提出できる。	完成させ、期限内に	課題を期限内に持	是出できる。	課題を期限内に提出することができない。				
学科の発	到達目標.										
<u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>											
	ムゼ			L. 1 - /L-14-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	=TL +\+\>	レスにかる世界さ	⊬. 49π ≤ R → + ¬				
概要 授業の進&	め方・方法	授業は 講義資	講義形式を中心と 料はOneNoteを使	《と日本を中心として、他地域にも言及しながら、主として近代の世界史を概観する。 §形式を中心とする。 はOneNoteを使用する(教科書は事前学習・復習に主として使用する)。 †リオとして課題提出を求める。しっかり復習すること。							
注意点		・ノー	トをとる際には、 のノートを目指する	書き写すだけでなく、	気づいたことや説	明などのメモを加え	や世界の地図を作ること。 え、後から振り返ったときに役に立				
授業の属	属性・履		症流行などの影響(試験についても)	こと。 こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場							
□ アクテ	ティブラーコ	また、 修上の区2	症流行などの影響(試験についても)	・ こより、状況を鑑みて		業時の指示に従う。					
□ アクテ	ティブラーコ	また、 修上の区グ ニング	症流行などの影響(試験についても) 分 ☑ ICT 利用	・ こより、状況を鑑みて	湯合があるので、授	業時の指示に従う。	こと。				
□ アクテ	ティブラーコ	また、 修上の区2	症流行などの影響(試験についても)	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場	湯合があるので、授	業時の指示に従う。 。 過ごとの到達目標	こと。				
□ アクテ	ティブラーコ	また、 修上の区分	虚流行などの影響(試験についても) 分 ☑ ICT 利用	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大	湯合があるので、授	業時の指示に従うる	こと。				
□ アクテ	ティブラーコ	また、 修上の区が ニング 週 1週	症流行などの影響(試験についても)分☑ ICT 利用授業内容オスマン帝国の	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス	湯合があるので、授	業時の指示に従うる 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 。 ヨーロッパでの大 いて説明できる。 ヨーロッパとアメ	こと。				
□ アクテ	画	また、 修上の区グ ニング 週 1週 2週	症流行などの影響(試験についても)分☑ ICT 利用授業内容オスマン帝国の:大航海時代とルー	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」	湯合があるので、授	業時の指示に従う。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡。 ヨーロッパでの大いて説明できる。 ヨーロッパとアメ がどういう影響を	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方 受けたのかについて説明できる。				
□ アクテ	ティブラーコ	また、 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週	症流行などの影響(試験についてもまた)☑ ICT 利用授業内容オスマン帝国のまた大航海時代とルー「コロンブスのきた	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革	湯合があるので、授	業時の指示に従う。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 。 ヨーロッパでの大 いて説明できる。 ヨーロッパとアメ がどういう影響を ヨーロッパでの宗 できる。	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方 受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明				
□ アクテ	画	また、 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週 4週	正流行などの影響(試験についても) 分 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革	湯合があるので、授	業時の指示に従う。 過ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 。 ヨーロッパでの大 いて説明できる。 ヨーロッパとアメ がどういう影響を ヨーロッパでの宗 できる。 日本の戦国時代の できる。	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明				
□ アクテ	画	また、 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週	定流行などの影響(試験についても)	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 。 ヨーロッパでの大 いて説明できる。 ヨーロッパとアメ がどういう影響を ヨーロッパである。 コーロッパとの大 がどういう影響を できる。 日本の戦国時代の できる。 幕藩体制と「鎖国	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。				
授業計画	画	また、 修上の区グ コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	正流行などの影響(試験についても) 分 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗: 戦国時代と南蛮 幕藩体制と「鎖	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡。 ヨーロッパでの大いて説明できる。 ヨーロッパとと響を コーロッパとと響を コーロッパをと響を コーロッパを表する。 日本の戦国時代のできる。 幕藩体制と「鎖国 これまでの授業内 な解答ができる。	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切				
□ アクラ	画	また、 修上の区グ コック 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	正流行などの影響(試験についても) 分 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗 戦国時代と南蛮 幕藩体制と「鎖 前期中間試験	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡。 ヨーロッパである。 ヨーロッパできる。 ヨーロッパをきる。 ヨーロッパをとと響を コーロッパをとと響を できる。 日できる。 日できる。 幕体制と「鎖国 これ解答ができる。 試験結果と照らし う。	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな				
授業計画	画	また、 修上の区グ	正流行などの影響(試験についても) 分 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗 戦国時代と南蛮 幕藩体制と「鎖 前期中間試験 答案返却・解説	こより、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡。 ヨーロッパできる。 ヨーロッパできる。 ヨーロッパをとと響いのである。 ロッパである。 コーロッパである。 コーロッパである。 コーロッパである。 日本の戦国時代のできる。 には、のできる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな は本が貿易によって結びついていたこきる。				
世 アクラ	画	また、 修上の区グ	正流行などの影響(記談についてもまた) 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗 戦国時代と南蛮 幕藩体制と「鎖前期中間試験 答案返却・解説 18世紀の世界と	により、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 。 ヨーロッパできる。 ヨーロッパできる。 コーロッパがである。 コーロッパがである。 コーロッパがである。 コーロッパがである。 本のできる。 年本である。 幕本までができる。 は験結果と照らし な解答はいている。 はいいできる。	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな は本が貿易によって結びついていたこきる。 □スで起こった産業革命について説明 開国によって起こった東アジアの変				
授業計画	画	また、 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	正流行などの影響(試験についても) 分 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗 戦国時代と南蛮 幕藩体制と「鎖 前期中間試験 答案返却・解説 18世紀の世界と 産業革命 アヘン戦争と日	により、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 っコーロッのできる。 コーできる。 コーできる。 マン・アックでできる。 コークのできる。 本でできる。 幕本までができいのできいる。 はいれてできる。 はいれてできいのでは、 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれてにない。 はいれている。 はいないる。 はいないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつり力大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切合わせて、これまでの復習をおこな は本が貿易によって結びついていたこきる。 「スで起こった産業革命について説明 開国によって起こった東アジアの変きる。				
□ アクラ	ライブラー: 画 1stQ	また、 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	正流行などの影響(試験についても) 分 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の 大航海時代とル 「コロンブスの 宗教改革と対抗 戦国時代と南蛮 幕藩体制と「鎖 前期中間試験 答案返却・解説 18世紀の世界と 産業革命 アヘン戦争と日	正より、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策 日本 本の開国 命とフランス革命	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の拡 っコーロッパできる。 コーロッパできる。 コーロッパがよりできる。 コーロッパができる。 コーロッパができる。 できるのできる。 本でできる。 第これ答さまた。 は験結果と照けまる。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてにないまた。 はいれてはないないまた。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないない。 はいれてはないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないないない。 はいないないないないないない。 はいないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな 本が貿易によって結びついていたこきる。 スで起こった産業革命について説明 開国によって起こった東アジアの変きる。				
授業計画	ライブラー: 画 1stQ	また、 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週	正流行などの影響(記)	正より、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策 日本 本の開国 命とフランス革命	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週ごとの到達目標 オスマン帝国の旅 ヨーて説明のいいのできるのできるのできるのできるのでできるのでできる。 幕ではいいのでは、アップでは、アップでは、アップでできるのでででできる。 第では、アップでは、ア	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな は本が貿易によって結びついていたこきる。 「スで起こった産業革命について説明 開国によって起こった東アジアの変きる。 とフランス革命について説明できる。 ナリズムについて説明できる。				
	ライブラー: 画 1stQ	また、 修上の区グ	正流行などの影響(記録についてもまた) 図 ICT 利用 授業内容 オスマン帝国の会 大航海時代とル 「コロンブスの会会を対抗。 戦国時代と南蛮等 幕藩体制と「鎖前期中間試験 答案返却・解説 18世紀の世界と 産業革命 アヘン戦争と日	正より、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策 日本 本の開国 命とフランス革命	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週では、 ののできると、 ののできると、 ののできるでは、 ののできるでは、 ののできるでは、 ののできるでは、 ののできるでは、 ののできるでは、 ののできるでは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 のので、	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな は本が貿易によって結びついていたこきる。 はて起こった産業革命について説明 開国によって起こった東アジアの変きる。 とフランス革命について説明できる。				
□ アクラ	ライブラー: 画 1stQ	また、 修上の区グ	正流行などの影響(記)	正より、状況を鑑みて 実施方法を変更する場 拡大 ネサンス 交換」 宗教改革 貿易 国」政策 日本 本の開国 命とフランス革命	湯合があるので、授	業時の指示に従うる。 週では、 ののできるという。 ヨーできるのでは、 ののできるのでは、 ののできるのでは、 ののできるのでは、 ののできるのでは、 ののできるのでは、 のので	こと。 □ 実務経験のある教員による授業 大と火器の登場について説明できる 航海時代とルネサンスの始まりにつ リカ大陸との出会いによって、双方受けたのかについて説明できる。 教改革と対抗宗教改革について説明 火器の導入と南蛮貿易について説明 」政策について説明できる。 容を理解し、試験問題に対して適切 合わせて、これまでの復習をおこな は本が貿易によって結びついていたごきる。 つスで起こった産業革命について説明 関国によって起こった東アジアの変きる。 とフランス革命について説明できる。 オリズムについて説明できる。 家の成立について説明できる。				

		2週		帝国主	6国主義 日清戦争			欧米列強の帝国主義政策による植民地獲得競争が世界 をどのように変えたのか説明できる。						
		3週		日清戦				日清戦争とその影響について説明できる。						
		4週		日露戦	战争				日露戦争とその影響について説明できる。					
		5週		第一次	7世界大戦			第一次世界大戦とその影響について説明できる。						
		6週		ソ連と	ニアメリカ合衆国			戦間期のソヴィエト社会主義共和国連邦とアメリカ合 衆国の影響力の拡大について説明できる。						
		7週		後期中	中間試験					これまでの授業内容を理解し、試験問題に対し な解答ができる。				
		8週		答案返	支却・解説				試験結果と照らし合わせて、これまでの復習をおこな う。					
		9週		第一次世界大戦後の国際体			il	ヴェルサイユ体制とワシン る。			ン体制について説明でき			
		10週	<u> </u>	第一次世界大戦後の経済 アジアのナショナリズム					第一次世界大	済構造がどのように変化 響があったのか説明でき				
		11退	9						第一次世界大学について説明	ンナショナリズムの高まり				
4	4thQ	12退	9	世界恐					戦間期のアメリカの台頭と、ファシズムの台頭につい て説明できる。					
		13退	<u> </u>	第二次世界大戦					第二次世界大學	早について説明できる。				
		14退	<u> </u>	東西冶)				アメリカとソ連を中心とする東西の対立について説明 できる。					
				期期末試験				これまでの授業内容を理解し、試験問題に対して適切 な解答ができる。						
				答案返却・解説			試験結果と照らし合わせて、これまでの復習をおこなう。							
モデルコ	アカリキ	-ユラ	5ムの	学習	内容と到達	目標								
分類					学習内容	学習内容	の到達目標				到達し	ベル	授業週	
						世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。)	2				
						民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。				2				
						近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む 世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。					2			
基礎的能力	人文・社 科学	文・社会社会	社会		地理歴史的 分野	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界 の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。					2			
						第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。					2			
						19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。								
評価割合														
試験				ポートフォリオ		相互評価	態度		発表 合計					
総合評価割合		70			30		0	0		0	100			
基礎的能力		70		30		0	0		0 100					
専門的能力		0		0		0	0	0		0				
分野横断的能力		0		0		0	0	0		0				